

**創立 30 周年記念特別号**

**2020(令和2年).4.8**

# 西こじょう会だより



**名古屋市高年大学鯨城会**

四間道のひと

**西こじょう会**

**名古屋市高年大学鯨城学園**

# 目次



◇表紙	1
◇目次・表紙のことば	2
◇お祝いの言葉 名古屋市西区長	3
高年大学副学長	3
高年大学鯉城学園地域活動指導員	4
西区社会福祉協議会会長	4
天神山福社会館館長	5
名古屋市西生涯学習センター館長	5
鯉城会会長	6
◇あいさつ	6~11
◇歴代 正・副会長一覧	12~13
◇行事の歩み	14~16
◇ボランティア活動の歩み・花の木サロン実施報告	17
◇同好会の歩み	18~21
◇30周年実行委員会・会員より一言	22
◇会員よりの一言	22~27
◇交友会より一言	28~37
◇健康寿命を延ばすには!	29
◇お知らせ	38
◇編集後記	39



## 表紙のことば

### 「四間道のひと」

初夏の昼下がり、美術学科 0B の仲間たちと四間道の屋根神さま巡りをしている途中、日傘がよく似合う和服姿の女性ふたり連れにお逢いした。

清楚で落ち着いた姿・立ち振る舞いは、この界隈に良く溶け込んでおり、思わず不躰なお願いをしてしまった

『絵にかきたいので、写真を撮らせて貰ってもよろしいでしょうか』  
とそんな出会いから生まれた1枚です。

25期 小岩 孝志 (名塚1)

# お祝いの言葉

## 30周年を祝して

名古屋市西区長 伊藤 誠

名古屋市高年大学西こじょう会創立30周年、おめでとうございます。

西こじょう会がおよそ160人の会員の皆様とともに発展・隆盛期を迎えられ喜ばしく思います。

高年大学は、高齢者の生きがいくつと地域活動の核となる人材育成を目的としております。皆様は卒業後、西こじょう会のもと、学園で学ばれた成果をさらに高め、仲間をさらに増やし、地域社会に大きく花を咲かせていただいております、まさに大学の理念を実践して生涯現役としてご活躍されていることを心強く思っています。「人生100年時代」といわれる中で、地域を支える大切な力となっていることは、元気な高齢者の役割が重要とされる「地域包括ケア」や「地域共生社会の実現」の理念にも合致しており、皆様がその先駆的な役割を果たしておられることに敬意を表します。

会の活動を拝見いたしますと、皆さまが楽しく行動され、も～やっこ精神で周りの方々も笑顔にさせるボランティア活動や、写真・写経等の同好会活動や総合作品展、文化教養活動や社会見学等々、幅広い活動内容とその充実ぶりに感心しております。

今後とも時代の変化に対応しながら、誰もが地域社会で生き生きと暮らすことができる心豊かな実践者として益々ご活躍いただきますようお願いいたしますお祝いのご挨拶といたします。

## 「だから君の道を進み行け」－ヘルマン・ヘッセ

名古屋市高年大学鯉城学園 副学長 森 文代

西こじょう会のみなさま、この度は創立30周年、誠におめでとうございます。

名古屋市鯉城学園は今年の4月、第35期生の方を入学生としてお迎えすることになりました。振り返れば第1期の方が卒業した年に鯉城会が、今とは少し形が違いますが立ち上がり、その後の3年間で16区すべてに区の鯉城会が設立されました。

以来ずっと学園と共に歩み、常に多大なご協力とご支援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

特に学園の趣旨である「卒業生が地域活動の中心になる」ということについて、正にこれを実現していただいているのが鯉城会です。

今、週刊誌やネットなどを見ますと老後の不安を掻き立てる様な情報も多く、身体が動かなくなったら、認知症になったら、老後破産したらどうしようというように、暗い面ばかり語られがちです。

実際には年を取って初めて理解できることも多いですし、楽しい事もいっぱいあります。また「いろいろな状況と折り合いをつけ、それを味わう」ということもできるようになり、60代、70代、80代とむしろ幸福度は増していくという研究結果もあります。

鯉城会の素晴らしい活動に加え、皆様が生き活きと楽しく生活していらっしゃる様子をご家族や地域の方に見せていただければ「ああ、もっと年を取っても大丈夫だ」と、より若い世代が安心して将来の夢を描くことにもつながるのではないのでしょうか。

幸せの形はお一人お一人で違っていると思います。「私の生き方はこうなのだ」と、いくつもいくつも示して頂けるように、私ども学園も一緒に努力してまいります。

これからもどうぞよろしくお願い致します。

## 西こじょう会創立 30 周年を祝して

名古屋市高年大学鯉城学園  
地域活動指導員 大谷 健二

このたびは、西こじょう会が創立 30 周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

貴会におかれましては、長年にわたり庄内緑地公園の清掃活動をはじめとして、西区民おまつり広場、西区ボランティアまつりへの参加や赤い羽根共同募金の募金活動にもご協力いただいております。

さらに、心の絆創膏キャンペーン活動や名古屋ウィメンズマラソンのボランティア活動にも取り組まれており、その活動は大変多岐にわたるところであり、改めて会員の皆様のご尽力に対しまして、深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

さて、現在学園では新一年生を迎え、新たな緊張感を感じながら仕事をしております。鯉城学園の設立目的である「高齢者の生きがいつくりと地域活動の核となる人材養成」の趣旨を多くの学生に理解していただき、一人ひとりの知識と経験を生かした地域活動の輪がこれからも広がっていくことを期待しております。

最後になりましたが、西こじょう会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。

---

## 30 周年おめでとうございます

名古屋市西区社会福祉協議会  
会長 堀場 光二

西こじょう会様が 30 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

昭和 61 年 4 月に名古屋市高年大学鯉城学園が開学され、卒業後も地域で活躍するために西こじょう会として立ち上がり、30 年間という長い歴史と本日までのたゆみない活動に敬意を表します。

西区社会福祉協議会には「第 4 次西区地域福祉活動計画」、「西区ボランティア連絡協議会」などさまざまな場でご協力をいただいております、皆様が鯉城学園で培われた学習の成果を地域社会に還元し、ご活躍されていることを大変心強く、またありがたく思います。また、お互いの結びつきを強めることを目的とした「花の木サロン」を開催されたり、同好会活動などで交流を深められるとともに、緑化推進やクリーン運動など地域活動も活発に行われており、皆さまのパワーを感じます。

西区社会福祉協議会では、第 4 次西区地域福祉活動計画において、地域住民の皆様や地域のさまざまな機関・団体が世代や分野を超えてつながり、住民一人ひとりが生きがいや尊厳を持って生活できる地域共生社会の実現に向けて取り組んでまいりたいと考えております。つきましては西こじょう会の皆さまにおかれましても西区の地域福祉の推進役としてさらなるご支援ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

最後に、西こじょう会様の今後の一層のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

## 西こじょう会創立 30 周年記念を祝して

名古屋市天神山福祉会館  
館長 伊藤 彰

西こじょう会結成 30 周年を迎えられ、誠におめでとうございませう。また、栄えある「創立 30 周年記念特別号」でごあいさつをさせていただくことにお礼を申し上げますとともに、大変光栄に感じております。

さて、鯉城学園は人口の高齢化にともない、ますます増えてまいります高齢者の方の生きがい作りと、地域活動の推進者として活躍していただくことを目的に設立されております。その鯉城学園を卒業され、学習された成果をいかんなく発揮され元気に活躍されておられる皆様の姿を目の当たりにするたびに、敬意を表しますとともに自分もこのように活動できたらとうらやましく感じております。

とりわけ、西こじょう会の皆様には、庄内緑地清掃活動や西区の「おまつり広場」に参加されるなど、地域に根ざした活動を展開されております。

私ども天神山福祉会館も高齢者福祉活動の拠点となるべく、今後も「認知症予防リーダー養成講座」「天神山サロン」等開催し、地域福祉課題解決のため力を注いでまいりたいと考えております。

今後も天神山福祉会館を有効にご利用いただくとともに、西区の地域福祉の向上にお互い手をたずさえながら活動してまいりたいと考えておりますのでご協力をお願いいたします。

最後になりますが、西こじょう会の今後ますますのご活躍ご発展を祈念いたしましてお祝いにごあいさつとさせていただきます。



## 創立 30 周年を祝して

名古屋市西生涯学習センター  
館長 熊本 哲也



西こじょう会 30 周年おめでとうございませう。日頃から、当生涯学習センターで様々な分野の活動をしていただきありがとうございます。

私が印象に残っていることは、毎年 10 月に当生涯学習センターのロビーを利用して日頃の活動内容の作品展示をしていただいていることです。作品展示を拝見しますと幅広い分野で活躍されていることがわかります。また、作品展示に見学に来られる方の人数の多さには毎年驚かされています。見学に来られた方々に作品展示等の説明をしている姿はとても生き生きとしていて、活動を通じて生き甲斐を感じていることが強く伝わってきます。

いくつになっても趣味を持って過ごすことは素敵なことです。私も当生涯学習センターを管理して 4 年がたちますが、利用者の皆様から元気をいただいております。

今後共当生涯学習センターへのご支援・ご協力を賜りますとともに、西こじょう会の益々の発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

## 西こじょう会創立 30 周年のお祝い

名古屋市高年大学鯉城学園  
鯉城会会長 飯田恭久

謹啓

新春の候、西こじょう会におかれましては、益々ご隆昌の事と慶賀の至りに存じます。さて、この度、西こじょう会がめでたく創立 30 周年をお迎えになられた事に対し、喪心よりお祝いを申し上げます。

私事で恐縮なのですが、中村区育ちの小生にとって西区は思い出深く、様々な経験をさせていただきました。幼稚園は名古屋市立第三幼稚園に通園、高校は愛知県立名古屋西高等学校に通学していました。恥ずかしい話ですが、最初にパチンコをしたのが、確か江川筋にあったミッキーという店でした。現在はありますか！？（笑）

円頓寺商店街が人通りも多く賑やかで活気があった頃、昔ながらのお肉屋さんの揚げたてのコロッケを美味しくいただいたのを、今でも懐かしく感じます。

西こじょう会はボランティアを通じ、円頓寺商店街の再興にお力添えをしていると聞いております。すでに再興を果たした大須商店街のようになるといいですね。

さて、鯉城会も一昨年から大きく様変わりし、16 の区会中心の体制となりました。

明るく・楽しく・元気よくの鯉城会スローガンの基、細川会長をはじめ会員の皆様が相互に支えあい、笑顔が絶えない西こじょう会として、今後、西区内の地域活動に携わり、区の繁栄に貢献されることと思います。

そして、西こじょう会が益々発展されることを心から祈念申し上げます。

創立 30 周年、誠におめでとうございます！！

## あいさつ

### □30 周年記念実行委員会 創立 30 周年を迎えて

実行委員長 30 期 細川 芳則（名塚 2）

会員の皆様には、日頃から西こじょう会に多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。歳月の流れは早いもので、平成 3 年 3 月 25 日に発足して以来、本年で 30 周年の節目の年を迎えることになりました。歴史の長さが感じられます。

現在、総勢 160 名（2 月末）の会員を擁しております。これもひとえに、今日の確たる組織を築いて来られた歴代会長並びに関係各位のご努力の賜ものと心から敬意を捧げたいと思います。

本年は、国内で最大のイベント「東京五輪・パラリンピック」が夏に開催されます。記念すべきことが重なり大変に思い入れのある年になりました。

この意義ある年にあたり、30 周年記念式典を開催できることに慶びと責任を感じ、ここに目出度く祝賀式・パーティーをさせていただきます。

また、記念誌の発行には皆様より執筆をいただいた貴重な記録と思い出が残ります。記念品においても立派な品がお渡しできたことの喜びを感じています。

これからの活動は、改めて心を引き締め地域社会に積極的に参加して、会員相互の繋がりを深め、元気で楽しい会を創り出して参ります。更に次の時代に繋げて行くよう運営をして参ります。

最後に、私たち高齢者の生き方はこれからも変化していきます。皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

## □歴代会長

### ◇第3代（平成15～17年）

#### こじょう会活動から老人会へ

13期 宮脇 行正（山田東3）



初代会長は4期の伊藤克己氏で12年勤めた。創立の苦勞から根幹を築いた立派な人でした。2代目の田辺氏は大病を患い私に回ってきた。会員の助言やご協力によりグラウンドゴルフ同好会や庄内緑地公園での花作り（春は菜の花、秋はコスモス等）が定着し市民に楽しんで戴いているのは会の誇りだと思います。

第1回総合作品展の会場探しに飛び回り地下鉄「黒川ギャラリー」で開催でき共に現在まで継続しているのはご同慶に存じます。会長退任後も一会員として学習会や見学会、ボランティア活動にお手伝いしてまいりました。その間にも地元の老人会に入会していましたが活動はしていませんでした。しかし在職中から消防団員として25年間勤めましたが巧く両刀を使いこなして多忙でした。

団も70歳で退団した時、老人会会長がアルツハイマーに罹患し、私が会長に就任してくれとの事、辞退したものの引き受けた。これからもまた自己主張の人や頑固な人もいて纏めていくのが大変です、60歳を過ぎても再雇用で働いている人が多く会員は増えないし、高齢化しDサービスに行く人、退会者が多く全国的に会員の減少は止まりません（鯉城会と似た面あり）

振り返ってみますと3月のウィメンズマラソンのボランティアを5年参加しました。一般ランナーのカラフルな服装やパフォーマンスな人もいて楽しかったのが印象に残っています。八十路を迎えたので後輩にお任せしました。ボランティアに限らず困っている人には積極的に助けまた自分も助けられる事が有るでしょう。

---

### ◇第4代（平成18年）

#### 30周年を迎えて

15期 一江 義光（浄心2）



西こじょう会の設立30周年、私にとっては入会20周年になります。

それは私が鯉城学園に入学したのは平成12年で満20年になり、当時は入学と同時に西こじょう会に入会を勧められ、種々の活動に参画しました。

卒業後は地域に貢献する事を目標としたボランティアの拡充を主に担当し、現在のボランティア活動の基礎作りに専念し、4年後の平成18年に第4代目の会長を拝命しました。

又、当時は鯉城会と区会は別組織でしたが、平成19年度より「区会員＝鯉城会会員」を柱とする抜本的改正を検討し、新生鯉城会をスタートさせる事に奔走しました。このことにより、区会の横のつながりが強化され一層強力な全市活動が出来る様になりました。

又、区会の平等性の為、規約等も出来るだけ統一する動きが進められ、会長任期も1年となりました。

会長退任後も顧問、相談役等を担当し、各種行事にも出来るだけ参加し、同時に同好会にも参加させて頂いています。

近年は30周年実行委員会のメンバーにも参画しています。西こじょう会の設立30周年の行事が成功裏に終わる事を願っています。

## ◇ 第6代（平成20年） あれから10年



18期 長谷川 光男（天神山2）

創立30周年おめでとうございます。

思い起こせば、10年前現役の広報担当及び編集委員が通常号にて手一杯のため、前・元広報担当の2人が20周年記念特別号の編集に携わった。原稿の集まりが遅く、悪戦苦闘の末何とか期日に間に合ったことが今頭をよぎります。

10年後の昨年2月に30周年準備委員会から、OBとして記念事業経験者として、30周年記念特別号の編集に相談役として加わってほしいとの依頼があった。八十路を過ぎ高齢のためかなり熟慮の末、お受けすることにした。

思い起こせば、この10年間健康に恵まれ西こじょう会の会員として楽しく老後の生活を過ごさせてもらったのも皆さんのおかげだと思い、恩返しの一部としてお手伝いをさせてもらった。

記念誌が完成したいま、果たしてお力になれたかどうかは疑問ですが、私自身精一杯頑張ったつもりでいます。

今後、西こじょう会の益々の発展を陰ながら見守りたいと思っています。

---

## ◇ 第8代（平成22年）

### 今は昔（グラウンドゴルフ立ち上げの苦労）



21期 黒岩 利次（菊井2）

「未だ覚めず、池塘春草の夢、階前の五葉すでに秋声」とはよく言ったもので、月日の経つのは早いもので、20周年記念を祝ったのはつい先日の様に思われます。10年前、思い出す事は鯉城会の発案で「グラウンドゴルフ」を立ち上げようと言う事です。

各区より2名の代表者が参加し執行部と共に、細則、実施方法の仕方、日時、場所、賞品、道具等をまとめる事となりましたが、誰がどの様にするのか、なかなか収拾がつきません。そこで実行委員長を中心に、執行部数人と実行委員5名を決め、たたき台を作る事になりました。それを各区に持ち帰り、検討し、その意見を集約し、又改善し、のくり返して、やっとまとめる事が出来ました。ところが、ここで大きな問題に突き当たりました。それは道具を4組そろえる事でした。1組は鯉城会で購入してもらい、残る3組はどうか？種々考えた結果、（区役所で借りられるかどうか？どこかのクラブで借りられるかどうか？？各区に持ち帰り調べた結果）西区と守山区は区役所で借りられ、残り1組はクラブの所持するものを借りる事で解決に至りました。当時、グラウンドゴルフはマイナーで、各区まちまちのやり方でまとまりがつきませんでした。それをまとめるため各区御苦労は察するに余りあるものがありました。試合の参加者を各区20名募ったところ3～5名のところが3区もありました。足並みが揃わず大変なスタートでした。試合当日、道具を運び忘れ、実行委員長の役割を鯉城会会長にまかせ、西区役所にとりに帰った事もありました。いろいろありましたが、各区の皆さんのおかげで、第1回目の大会は成功致しました。毎年、恒例の行事となり、各区の交流が深まると言う、こんなすごい事はないと思います。あの頃の苦労が報われ、ホット胸をなでおろしております。

30周年を迎えるにあたって、ふと昔を思い出しました。これからも、この行事が鯉城会のイベントの一つとして、永く続くと共に、西こじょう会の益々の発展を祈念致しております。

## ◇第11代（平成25年）

### 創立30周年記念おめでとうございます。

23期 陸浦 幹雄（山田東2）



今日まで会長初め諸先輩、そして会員の方々の存続の精神があったからこそ、記念行事に結びついたと思います。

私が西こじょう会に入会して18年間あった事を列挙すると・西こじょう会創立20周年記念行事参加・第11代会長を務めた事・西こじょう会誌第100号記念号に会う・今回の30周年を祝う事。等でこれらの節目に身を置くことが出来た事に感謝しています。

中でも25年度の会長職の年は鯉城学園が名古屋市議会で行う事業仕分けで廃止と決まりましたが、このままではいかん存続に向けて抜本的な見直しをする事を前提にしたことで存続が決まったが、見直しの中に鯉城会NPO法人化を検討する項目があり、西こじょう会として臨時幹事会で主旨説明をして会員に意思表示の協力をお願いしました。

結果は保留と決まりましたので鯉城会代議員会に報告、鯉城会NPO法人化は反対多数で否決された。

この年は鯉城学園の変革の年だったと思います。最後に西こじょう会が永く存続出来るよう奮闘しよう、そして皆様には穏やかで健康と幸せをせつに祈念申し上げます。

---

## ◇第12代（平成26年）

### 過渡期

25期 小岩 孝志（名塚1）



（平成23）鯉城学園が「廃止」と判定されたことは新聞でも大々的に取り上げられ、河村たかし市長の「税の公正な使い道として適切かどうか皆さんの意見を聞きたい」という言葉が印象に残っています。

（平成24）「廃止」の判定結果とは違い「運営を継続するが、授業料値上げや定員拡大で運営経費半減を目指す」という結論には良かったと思う反面これからが大変だなと感じたこと思い出します。そんな年度に25期生は卒業、そして「西こじょう会」に入会しました。

（平成25）地域リーダー育成の目的が十分でないことも、同時に指摘されており、同じ区に居住する同級生との関係作りと区の社会福祉協議会、区鯉城会を知る機会とする目的で「地域ミーティング」が在校生を対象に発足、「西こじょう会」は社会福祉協議会の協力のもと屋内での体験学習を実施、現在に至っています。

（平成26）会長在任。学園が変革されたことを受け、鯉城会も新しく生まれ変わることが望ましいという考えからNPO法人化が約2年に亘り討議されてきましたが、代議員会において反対多数で否決、白紙撤回になったことも印象に残った出来事でした。

この先、40年さらに50年と、新たな課題に挑戦しつつ継続・発展されんことをお祈りいたします。

## ◇ 第13代（平成27～28年）

### 会長の言葉

26期 岩尾 秀樹（名塚3）



会運営のお手伝いをさせて頂くことにより、たくさんの素敵な方々と出会うことが出来ました、

これからの私の人生で大切な財産です。  
末永く会が継続することを願っています。



## ◇ 第14代（平成29年）

### 祝！30周年

28期 平澤 文夫（名塚5）



西こじょう会創立30周年を迎えて、まことにおめでとうございます。

30年前といえば、年号も昭和から平成に変わった頃であり、今や平成から令和の時代に突入しました。変化の激しい昨今にあって、今日この日を迎えられるのは、歴代の役員方々のたゆまぬ努力と、会員の方々のご支援あつての賜物と、心からお慶び申し上げます。

私が就任した頃は、仕分け対象の話題にも決着が付き、平穏な時代でありましたし、幸いにも有能な役員の皆様にも囲まれておりましたので、何の苦労もなくスムーズな運営ができたことと思っております。また、多くの方々との交流があり、大変有意義で楽しい一年間を過ごさせていただきました。今でも、何かの会合で行った先々や、街中を歩いている時などに、顔見知りの方達からお声掛けいただくことがあり、とても有難いことだと感じております。

近年、愛知県健康寿命が全国上位にランクイン（女性一位、男性三位）されているのは、鯉城学園と鯉城会の存在が大きく影響していると思っております。年齢を重ねてからも、色々なことに興味を持ち「味わい深い」人生を送ることが感動的だと思っております。私も、西こじょう会が開催する行事や、ボランティア活動にはできるだけ参加するように心がけております。

これからも初心を忘れることなく、次の30年を目指して精進を続けてください。  
ここに謹んで30周年に祝意を表すとともに、西こじょう会のご発展をお祈り申し上げます。

## ◇ 第15代（平成30年）

### これから

29期 森 富貴子（名塚4）



30周年おめでとうございます。10年ひと昔といいますが時の流れの速さを2倍3倍にも感じます。

長きにわたり会を支えられた諸先輩の皆様には敬意を称します。私もその時間の少々を“笑顔であいさつ今日の一日”のスローガンの元携わらせて頂きました。

平成から令和へと年号も変わり、時の総理も生涯現役と数年前から唱えられ、世はまさに100歳時代、まだまだ私たちも役に立ちそうです。単純作業や力仕事をあらゆる分野にAI進出、携帯はスマホ、決済は電子マネー についていくだけで大変などと言っていられない・・・自助共助も言われて久しい、こんな中、昭和生まれの私たち、人と人との関わりを大切に西こじょう会も時代の流れに足をかけ、ゆっくりでもいい少しずつでもいい発展していきましょう。

## ◇ 第16代（令和元年）

### オール鯉城の転換期

30期 細川 芳則（名塚2）



平成29年に卒業して、縁あって西こじょう会に入会しました。その年から、学生協議委員をしていた関係で鯉城会代表幹事を仰せつかり2年間務めさせていただきました。この間、鯉城会入会金を区会も徴収していたため、同じ鯉城会が二重取りしていることを改正いたしました。また、クラブの関係行事もクラブ側に運営を任せることにしました。従って、鯉城会は16の各区会があつての組織になりました。

新しい年号「令和」になって、最初に西こじょう会会長を拝命しました。しかし、入会者が激減して会の運営が大変に難しくなってきました。その事由は、最近の鯉城学園は定員割れ、再入学者の途中退学などで卒業生が減りました。また、考え方が多様化したため入会率（前年32%）の減少が如実に表れました。

従来は、卒業したら鯉城会入会が当たり前になっていたと聞いています。ボラ活動も全員が参加していたとのこと。また、区会の幹事・役員も1年間就いたから次の卒業生に交代して良いでした。今はそんな時代が嘘のようです。

今は当然、転換期を迎えているため区会のあり方を話し合い会則の改正にかかりました。社会の変化に対応できる組織作り、参加できる企画・行事を示して行かなければならないと思いました。

そのためにも、もっと現学生と交流して新規の入会促進に務め、学区ごとの交友会を開催、楽しい同好会の運営、地域とのコミュニティーに参加して行く。

やれる人がやる、元気な人に付いて行く、応援して行く、協力して行く、この行動思考が大事なのかなと思います。

次の40周年に向けて、皆様にはこれからの活動にご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。せつかくの長い人生、楽しまないともったいない。高齢者でなく幸齢者で、達者な人生を過ごしましょう。

# 歴代 正・副会長一覧

年 度	会 長	副会長	副会長	副会長
平成 3年度	伊藤 克巳 (4期 文化B)	岡本 芳松 (3期 文化)	後藤 良男 (4期 生活A)	—
4	伊藤 克巳 (4期 文化B)	岡本 芳松 (3期 文化)	安井 治郎 (4期 文化B)	—
5	伊藤 克巳 (4期 文化B)	岡本 芳松 (3期 文化)	安井 治郎 (4期 文化B)	—
6	伊藤 克巳 (4期 文化B)	岡本 芳松 (3期 文化)	安井 治郎 (4期 文化B)	—
7	伊藤 克巳 (4期 文化B)	岡本 芳松 (3期 文化)	安井 治郎 (4期 文化B)	—
8	伊藤 克巳 (4期 文化B)	水野 陸郎 (4期 園芸)	加藤 彦昭 (8期 園芸)	—
9	伊藤 克巳 (4期 文化B)	水野 陸郎 (4期 園芸)	加藤 彦昭 (8期 園芸)	—
10	伊藤 克巳 (4期 文化B)	太田 績 (6期 生活B)	加藤 彦昭 (8期 園芸)	—
11	伊藤 克巳 (4期 文化B)	太田 績 (6期 生活B)	加藤 彦昭 (8期 園芸)	—
12	伊藤 克巳 (4期 文化B)	太田 績 (6期 生活B)	加藤 彦昭 (8期 園芸)	田辺 元就 (11期 園芸)
13	田辺 元就 (11期 園芸)	竹内 太郎 (9期 文化B)	宮脇 行正 (13期 文化B)	—
14	田辺 元就 (11期 園芸)	宮脇 行正 (13期 文化B)	藤原 勇助 (14期 地域)	—
15	宮脇 行正 (13期 文化B)	柘 康弘 (14期 生活B)	秋山 癸亥 (15期 地域)	一江 義光 (15期 生活B)

年 度	会 長	総務担当	行事担当	ボランティア担当
16	宮脇 行正 (13期 文化B)	—	柘 康弘 (14期 生活B)	一江 義光 (15期 生活B)
17	宮脇 行正 (13期 文化B)	一江 義光 (15期 生活B)	金岩 武 (17期 園芸)	堂前 春男 (17期 福祉)
18	一江 義光 (15期 生活B)	金岩 武 (17期 園芸)	田野 章 (18期 美術)	堂前 春男 (17期 福祉)
19	金岩 武 (17期 園芸)	長谷川光男 (18期 生活B)	田野 章 (18期 美術)	堂前 春男 (17期 福祉)
20	長谷川光男 (18期 生活B)	田野 章 (18期 美術)	川北 昌幸 (20期 文化A)	加藤 義勝 (18期 環境)
21	荒川 鎮雄 (20期 地域)	川北 昌幸 (20期 文化A)	三輪田憲治 (21期 地域)	横山 年光 (21期 環境)
22	黒岩 利次 (21期 国際)	大口 廣司 (20期 地域)	伊藤 公 (22期 文化B)	別府 輝年 (21期 環境)
23	伊藤 公 (22期 文化B)	高橋清太郎 (23期 陶芸)	香山 敏広 (21期 文化A)	別府 輝年 (21期 環境)

年度	会 長	副 会 長			
		総務担当	行事担当	ボランティア担当	広報担当
24	香山 敏広 (21期 文化A)	高橋清太郎 (23期 陶芸)	小岩 孝志 (25期 美術)	陸浦 幹雄 (23期 地域)	鈴木 英作 (23期 健康)
25	陸浦 幹雄 (23期 地域)	小岩 孝志 (25期 美術)	松井 武敬 (25期 健康)	丹下 和夫 (25期 生活B)	鈴木 英作 (23期 健康)
26	小岩 孝志 (25期 美術)	陸川 親一 (27期 福祉)	市岡 幸雄 (27期 福祉)	櫛田 甫 (27期 国際)	伊藤 光宏 (25期 環境)
27	岩尾 秀樹 (26期 文化B)	久保 保弘 (27期 文化A)	早川 守 (27期 地域)	岸 みどり (27期 福祉)	伊藤 光宏 (25期 環境)
28	岩尾 秀樹 (26期 文化B)	久保 保弘 (27期 文化A)	早川 守 (27期 地域)	岸 みどり (27期 福祉)	櫛田 甫 (27期 国際)
29	平澤 文夫 (28期 陶芸)	田口 厚生 (28期 地域)	平野 茂子 (27期 地域)	野々山克彦 (29期 地域)	加藤 武 (27期 陶芸)
30	森 富貴子 (29期 文化A)	倉田 好江 (30期 地域A)	平澤 文夫 (28期 陶芸)	野々山克彦 (29期 地域)	勝 シズ子 (30期 地域A)

年 度	会 長	副会長	副会長
令和元年 (平 31)	細川 芳則 (30期 地域A)	森 富貴子 (29期 文化A)	小出 晴子 (30期 健康B)

令和元年度 (31年度) 委員長

総 務 委員長	小出 晴子 (30期 健康B)
広 報 委員長	勝 シズ子 (30期 地域A)
ボランティア委員長	野々山克彦 (29期 地域)
行 事 委員長	森山 幸治 (30期 地域A)

- 備考：① 平成16年度より副会長3名の担当を分担する。  
 ② 平成24年度より広報担当を書記から副会長に昇格する。  
 ③ 平成24年度より副会長の各担当を委員長と称する。  
 ④ 平成31年度 (令和元年度) より副会長を2名専任し、4名の委員長を副会長から解く。

# 行事の歩み

## ➤ 直近（平成 22 年～31 年）

平成 3 年～平成 21 年度迄の 20 年間は、20 周年記念号に掲載されましたので、今号には平成 22 年～31 年度（令和元年）の 10 年分を掲載します。（作品展の参加者欄は来場者数）

### 22 年度

月日	行事名	行事内容	参加者
5.25	若狭鯖街道・熊川宿バス旅行	奥琵琶湖を眺め、保存地区「熊川宿」を散策	43 名
7.13	史跡めぐり「荒子観音と円空仏」	百万石への道、犬千代ルートを散策	30 名
8.10	清洲城と麒麟ビール見学	新装の清洲城を見学、ビールの試飲	30 名
10. 5	第 7 回総合作品展	ふれあい黒川ギャラリー（4 日間）	260 名
11.18	常滑焼とセントレア見学	焼き物散歩道日本六古窯“常滑”と空港見学	30 名
12.14	名古屋港体験ツアー	港務艇「ぽーとおぶなごや 2」にて海上を見学	43 名
3. 3	徳川美術館見学	尾張徳川家雛祭り特別展と雛御膳の食事会	29 名

### 23 年度

5. 6	長谷寺・室生寺バス旅行	長谷寺の牡丹、室生寺の石楠花の花めぐり	48 名
6.22	リニア・鉄道館見学	JR東海が開設した人気の展示館見学	44 名
7.11	学習会「名古屋市議会」傍聴	市長と市議との論戦を見学、KKR にて食事	40 名
8.26	学習会「名古屋地方裁判所」	裁判員制度が実施され、裁判を傍聴する	37 名
9.13	名古屋科学館見学	世界最大のプラネタリウムと展示室を見学	40 名
10. 5	第 8 回総合作品展	ふれあい黒川ギャラリー（3 日間）	260 名
11.28	京都「紅葉と味覚」バス旅行	真如堂、嵯峨野の宝篋院を満悦、湯豆腐も	40 名
2.21	JICA 中部名古屋本部研修会	海外派遣隊員との研修会と食事	41 名
3.27	岩倉五条川にての観桜会	桜は残念、「蕾」が満開	37 名

### 24 年度

5.28	駒ヶ根方面へのバス旅行	駒ヶ岳「千畳敷カール」と養命酒工場見学	37 名
7.20	ランチタイムコンサート	宗次ホールにてクラシック音楽と食事会	32 名
8.31	犬山・船上グルメと昼鵜飼	屋形船で食事と遊覧、昼間の鵜飼を鑑賞	41 名
9.28	「らんの館」と大須演芸場観劇	ランの花他をゆっくり楽しみ、のち寄席へ	29 名
10. 3	第 9 回総合作品展	西生涯学習センター（7 日間）	548 名
11.30	「京都・紅葉鑑賞」バス旅行	京都洛北の古寺を巡り紅葉を鑑賞	39 名
12.17	学習会「市政出前トーク」	「名古屋城本丸御殿」	23 名
2.28	しだれ梅鑑賞と懇親会	名古屋市農業センターにて春の訪れを感じる	39 名

### 25 年度

5.29	天竜・二俣方面バス旅行	天竜二俣駅（転車台・鉄道歴史観）と龍潭寺	35 名
6.18	名古屋城本丸御殿見学会	檜の香り漂ういい気分に入る	60 名
7.19	麒麟ビール名古屋工場見学	工場見学とビールの試飲	36 名
8.14	港務艇により港内視察	「ぽーとおぶなごや 2」による港内視察	43 名

## 25 年度

月日	行事名	行事内容	参加者
9.27	文化の道学習会	撞木館・二葉館を散策	24 名
10. 1	第 10 回総合作品展	西生涯学習センター(5 日間)	538 名
11.29	越前朝倉氏遺跡バス旅行	一乗谷の遺跡(城下町跡・武家屋敷他)見学	37 名
12.17	東山動物園学習会	ボランティアの案内で園内を見学	17 名
3.28	名古屋城見学会	花見も兼ね、本丸御殿ももう一度	17 名

## 26 年度

5.16	見学会「木下サーカス」	「木下サーカス・名古屋公演」を見学	13 名
6.20	学習会「揚輝荘・聴松閣」	5棟の建造物が市指定有形文化財に指定	27 名
7.18	ランチタイムコンサート	宗次ホールにてコンサート鑑賞と食事会	25 名
9.26	学習会「中日新聞社 本社」	活字、新聞の出来る迄の工程等を学ぶ	45 名
10. 3	第 11 回総合作品展	西生涯学習センター(5 日間)	260 名
11.28	湖東三山バス旅行	晩秋の近江路の名刹三山と永源寺他	46 名
12.15	学習会「市政出前トーク」	「住居表示と町名の由来」	31 名
3.13	見学会「名古屋農業センター」	早春の枝垂れ梅を鑑賞	29 名

## 27 年度

5.15	名古屋港クルージング	ランチバイキングと伊勢湾クルーズ	30 名
6.17	ミツカン酢ミュージアム見学	半田のミツカンミュージアムの見学	15 名
9.26	スイーツコンサート	宗次ホールにて「The 和・和コンサート」と食事	25 名
10.14	第 13 回総合作品展	西生涯学習センター(5 日間)	330 名
11.18	大井川方面バス旅行	大井川紅葉と SL.乗車(アプトライン)	33 名
12.17	区会OBによる講話	「世界を走せ挑戦者としてあり続ける人生魂」	43 名
3.21	学習会「市政出前トーク」	高齢者の食生活「食の安全、安心の確保」	20 名

## 28 年度

5.15	名古屋港クルージング	ランチバイキングと伊勢湾クルーズ	30 名
6.17	ミツカン酢ミュージアム見学	半田のミツカンミュージアムの見学	15 名
9.26	スイーツコンサート	宗次ホールにて「The 和・和コンサート」と食事	25 名
10.14	第 13 回総合作品展	西生涯学習センター(5 日間)	330 名
11.18	大井川方面バス旅行	大井川紅葉と SL.乗車(アプトライン)	33 名
12.17	区会OBによる講話	「世界を走せ挑戦者としてあり続ける人生魂」	43 名
3.21	学習会「市政出前トーク」	高齢者の食生活「食の安全、安心の確保」	20 名

## 29 年度

5.26	古都飛騨古川バス旅行	飛騨古川町散策と山野草花園(九輪草)	36 名
6.23	ランチタイムコンサート	宗次ホールにてオーボエとハープの演奏	17 名
9.22	トヨタ博物館の見学	見学後、ホテルフォレストにて食事	39 名
10.13	第 14 回総合作品展	西生涯学習センター(5 日間)	300 名
11.28	秋の愛岐トンネル群見学	現存するトンネル 13 ヶ所(愛知側6岐阜側 7)	8 名

## 29 年度

月日	行事	行事内容	参加者
12.18	区会OBによる講話	「個人海外旅行の勧め」	30 名
3.20	区民のための出前トーク	「交通安全と振り込め詐欺について」	20 名

## 30 年度

5.25	ランチタイムコンサート	宗次ホールにて「大作曲家たちの競演」食事	28 名
6.22	徳川庭園散策とランチ会	徳川美術館鑑賞及び庭園散策	26 名
9.28	見学「あいち航空ミュージアム」	「あいち航空ミュージアム」の施設見学	22 名
10.12	第 15 回総合作品展	西生涯学習センター(5 日間)	300 名
11.23	恵那峡方面バス旅行	恵那峡遊覧船と紅葉狩り、岩村城下町散策	25 名
3.22	学習会「市政出前トーク」	「大災害から身を守る備え」	23 名

## 31 年度 (令和元年)

5.22	ランチタイムコンサート	宗次ホールにて音楽鑑賞と食事	15 名
6. 7	あじさいの里と蒲郡散策	若葉の染め入る初夏に形原温泉方面へ	16 名
7.26	ランチタイムコンサート	宗次ホールにて音楽鑑賞と食事	15 名
10.18	第 16 回総合作品展	西生涯学習センター(3 日間)	300 名
11.20	16 区フェスティバル	稲永スポーツセンターにて体育祭	36 名
11.22	日帰りバス旅行	石山寺と近江八幡散策	26 名
1.17	新年懇親会	志の島浄心本店	33 名
2. 13	学習会「市政トーク」+花の木サロン	「食事のとり方の工夫」他	22 名

## ➤西こじょう会 30 周年を迎えて

行事委員長 30 期 森山 幸治 (菊井 2)

30 周年 まことにお目出とうございます。

行事係を担って 2 年になり、まだまだ未熟者ですが年間を通じて 7・8 回催しを行っております。

過去を振り返り、諸先輩方の足跡を如何に踏襲し実践して行くかの難しさを痛感しております。

音楽鑑賞・観劇・行楽・施設見学・飲食会・講話・市政トーク、それに総合作品展等、多々催しはありますが参加動員数は今一步の状態です。

行事を立案し、現地下見・印刷・配布・集計・員数確認を行って行事が催されます。

広く皆様のご意見・ご要望を集め行事に反映してまいります。一人でも多くの参加をお待ちしております。

今後ともより一層のご支援をお願い致します。



石山寺



# ボランティア活動の歩み

ボランティア委員長 29期 野々山 克彦（菊井1）

2015年に西こじょう会に入会し、翌年から3年間ボランティア委員長を務めさせていただきました。

## □従来からの鯨城学園の企画行事

\* 鶴舞公園の清掃・堀川堤の清掃・庄内緑地清掃・地域ミーティングのほか各種会議の出席

## □行政の企画行事

\* 西区社会福祉協議会企画 区民祭り・ボランティアまつりの参加

\* 春秋2回の「心の絆創膏」配布キャンペーンへの参加

\* 赤い羽根募金への協力・ボランティア保険加入の斡旋

この様な行事や企画運営を履行することで精一杯でした。

※介護される年になった者が従来のようなボランティア活動をすることに負担を感じるようになりました、西こじょう会でも別の姿に活動を考慮してもいいのではありませんか。

□例えば、目的もなく集まって「世間話」や「愚痴のたぐい」などをお茶やコーヒーを飲みながら無駄話をしては！

□見知らぬ人・親しい人・先輩・後輩も関係なく、懇親したら！

サロンの様な楽しい雰囲気のある場所を準備することをボランティア活動として行ってはどうですか？



# 花の木サロンの実施報告

副会長(担当) 29期 森 富貴子（名塚4）

月日	内容	講師	参加者
4. 11	ホームエクササイズ	認知症予防リーダーの皆様	18名
5. 9	楽しいマジック	マジックQの皆様	18名
6. 13	家庭で出来る筋肉体操 夏に向かっての体力管理	レクリエーションワーカー 長縄紀美子様 保健師 横本彩子様	18名
7. 11・8. 8	フェルトノマスコット& プチショール&缶アート	田坂和子様 マスコット 田口葉子様 編み物 森様 缶アート	20名
9. 12	講談：なかむら亭	まん丸（忠臣蔵） 梅丸（牡丹灯籠） 清香（方丈記） の各氏	21名
10.10	ハーモニカ演奏	ハーモニカじょうしん 川北昌幸様他7名	17名
11. 14	写経	旭書道会・森青桜（担当者）	16名
12. 12	歯とお口の健康	西保健センター 東歯科衛生士他1名	19名
1. 9	折り紙	楽しい折り紙 熊本勉様他2名	17名
2. 13	食事のとり方の工夫	西保健センター 渡辺管理栄養士	22名
3. 12	楽しく体を動かそう	認知症予防リーダーの皆様	中止

□時間に余裕がある時はあやとり・朗読・簡単な体操を行いました。

あやとり（澤田さん）・朗読（綱島さん）・体操（竹島さん）でした。

□2月は行事委員会合同開催でした。

□3月のサロンはコロナウィルス感染予防のため中止いたしました。



# 同好会の歩み

## □ カラオケ同好会

世話人 21期 別府 輝年 (菊井2)



カラオケ同好会は2006年4月に17期の金岩武氏が世話人となり、6名でスタートその後会員数も増え2010年20期の荒川鎮雄氏が世話役になり快適に歌えるように2つの班に分かれて活動。1班はシダックス住吉店で2班はカラオケ館錦本店に両班共8名~10名で3時間程好きな唄を大きな声で歌い、おしゃべりして「元気で楽しく」をモットーにカラオケを通してコミュニケーションを図っています。日頃は大きな声を出す機会の少ないシニア世代には楽しく歌うことは一番の健康薬です。現在は会員数25名(男性15名・女性10名)です。懐メロを歌い昔を懐かしむことは認知症予防にもなるそうです、新曲に挑戦することは頭の刺激にもなり80代の方も多く参加されていますが、皆さん元気です。

会場は1班がシダックス住吉店から今池のまねき猫館に変わりました。

2班はカラオケ館です、世話人も会員の増加で2名体制になり、今は21期別府輝年と26期岩田幸造が努めています。皆さんの参加を待っています。

## □ ドラゴンズ同好会

世話人 21期 黒岩 利次 (菊井2)



岩瀬949登板最多タ

西こじょう会が創立されて30年と言う、おめでたい年にドラゴンズ同好会として投稿出来る事は誠に喜ばしく光栄です。

さて、ドラゴンズ同好会は高木監督の時、平成24年5月18日設立しました。当時のドラゴンズは投、打の調子も良く、前年は優勝、この年は2位となり快調そのものでした。所がどうした事か翌年から狂い出し、監督も谷繁監督から森監督へそして与田監督へと交代しました、その順位は4・4・5・6・5・5・5位と7年連続Bクラスとなりました。

同好会と言いますと設立当時は世話人一人でしたのでどの試合を観戦するのか、何時から始まるのか数日前にならないと解らず、各個人のスケジュールを調整するのが大変でした。

しかしドラゴンズを愛する気持ちには何ら変わりなく何とかスケジュール通り運んでいた様でした。会員数も24名通常観戦試合4回、スイートルームは2回の計6試合の応援をしてきました。

一試合当たりの観戦者数は12人と現在とあまり変化はありませんでした。



3年前から世話人は三人体制となり、各個人のスケジュールを重視することを考え、年間観戦試合(8試合)の対戦相手、開始日、開始時間を一覧表にまとめ、4カ月前から配布する様にしてチケットの購入、配布方法、会計の明朗化等も改善しました。



監督考察案来季スローガ

ます。

ただ残念なのは会員数が7年前より減って21名となった事です。

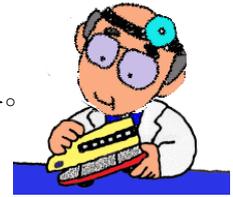
観戦時は、ビール・ジュース等を飲みながらおしゃべり、もぐもぐタイムと楽しい時を過ごします。

是非一人でも多く会員になって下さる様世話人一同お待ちいたしております。

## □ おもちゃ病院

世話人 26期 岩尾 秀樹 (名塚3)

卒業予定者への入会案内など西こじょう会の支援をいただきながら  
西区ボランティア連絡協議会メンバーとして活動しています。  
お陰様で最近では区内のボランティア団体として知名度が上がってきました。  
これからもご支援を賜りたく。



## □ 西児童館ふれあい隊

世話人 26期 岩尾 秀樹 (名塚3)



西こじょう会会員と児童館の可愛い子供達とをつなぐ役割  
で活動を始めました。

最近では円頓寺の七夕まつりのビックイベントとして実施  
しています。

役員会・幹事会の方々にはイ  
ベント時のお手伝いなどをお  
願いしており、大変感謝して

おりますこれからもご支援をお願いします。



## □ 西雀友会

世話人 27期 塚田 加代子 (天神山2)



鯨城学園での学びや活動を先輩の方々が育んで継続して頂いた  
おかげで30周年を迎える事が出来ました。

「西こじょう会創立30周年」おめでとうございます。

西こじょう会、の中で一番若い同好会の西雀友会ですが、今年  
5年目に入りました。

スローガンは「体力・知力・気力」を若く保ちましょう！です。

皆様と仲良く麻雀が出来る様協力し合い、又会員が増えるよう

努力してきました。その甲斐がありまして立ち上げたときより人数も多くなり喜んでおりま  
す。

今！女性の麻雀への熱意は大変なもので、益々広がって世界中で親しまれているゲームで  
す。

認知症予防になること、仲間が出来る事、楽しみながら少しでも成長している姿を見られ  
るのがうれしいです。

長島松ヶ島にて一泊二日で麻雀大会を開催したり、新年会や忘年会をし  
て会員相互の親睦を深めています。



## □ グラウンドゴルフ同好会

世話人 30期 松野 正実 (菊井 1)



私が西こじょう会グラウンドゴルフ同好会に入会して早いもので2年余り経過し、昨年からは世話人代表として頑張っているところです。

さて、西こじょう会でグラウンドゴルフ同好会として承認されたのが平成13年10月と聞き、歴史がある同好会だなと実感したところです。

設立当時に大変ご苦労された思い出は、すてに20周年記念の歩みで紹介されており省略し

ます。その当時は、高齢者のスポーツとして団体競技であるゲートボールから個人で楽しめるグラウンドゴルフへと変わりつつあって、設立するには良い時期に出会ったとも聞いています。

その後、順次皆さんの努力により会員数も10名ほど増え、また1年間を通じ快適にプレイ出来る環境も確保されました。又、設立当時のメンバーも多数残っておられ健康的で元気なのに驚きました。

又、数年前よりメンバー中から庄内緑地にある桜の下で昼食を兼ねた花見でもという話が出て、それが毎年恒例行事として和気あいあいと親睦を深めています。更には1年の締めくくりとして忘年会を開催し1年を振り返り楽しかったこと、特に健康維持についての談議に花を咲かせたりする場にもなっております。現状1番問題となっていることは、今後更なる若い人を含めた増員は難しく、これからは人生100年に向け健康的なスポーツとしていかに魅力があり、かつ誰でも参加しやすいスポーツとしてPRしていく事が重要となってきています。そのために、こらからの活動においても、月3回の庄内緑地でのプレイ及び年2回の懇親を兼ねた県外でのプレイの見直し、更には年1回の鯉城会グラウンドゴルフ大会等を通じて、親睦を図り皆で楽しめるものにしていきたいです。現在、会員32名が力を合わせ、みんなで「楽しく、元気モットーに」を合言葉で頑張っていきたいと思っています。

## □ 写経同好会

世話人 15期 安藤 弘子 (浄心 3)

写経の集い(こと納め)として昨年12月18日(水)丹精込めて書写した一年分の成果を八事興正寺に納めました。

読経と法話を拝聴した後、八事木曾路にて昼食をしながら皆さんで回想のひと時を楽しみました。

般若心経の一字一字に願いを込めて心身を集中して心の安らぎを得ることが出来るでしょう。

入会ご希望の方は一度天神山福祉会館に見学にお出かけ下さい。

毎月第3水曜日場所は天神山福祉会館  
2階にて、10時～終わりはそれぞれの  
都合にて!



## □健康同好会

世話人 23期 木全 二美代（名塚4）



約10年前、西こじょう会の数名と、20期の前田サカエさんが指導者となり、健康維持のため、老人の脳トレ・リズム運動・簡単な体操などを行うことになりました。それからは、常に20～25名の人数で運営して来ました。

新年会や忘年会を開き、会員とのコミュニケーション取りました。また、毎年10月には「西ふれあいまつり」に参加して、脳トレ・健康体操などを発表して参りました。なんと言っても印象に残るのは、「西警察の交通事故防止」の行事に参加して、事故防止・オレオレ詐欺防止にも一役かいました。いろいろな行事に参加して、皆さんと和気あいあい楽しく出来たことが大変に良かったと思います。しかし、指導者の前田さんが、健康の都合でお辞めになり平成時代の終りとともに幕を閉じました。

是非、継続したいとの思いで会員の皆さんが話し合った結果、令和の4月になって筋肉のプロフェッショナルである三上先生に指導をお願いすることになりました。膝の痛み、足腰の痛みの原因などを無くし「一生歩けるように」をモットーに指導をいただき、わかりやすく体操の中に組み入れて丁寧に教えてもらっています。改めまして、西こじょう会の皆様に感謝を申し上げます。

## □写真同好会

創立30周年記念号を祝して



18期 柴田 茂一（名塚5）

西こじょう会も本年で30周年を迎えることになり誠に喜ばしい事です。当写真同好会は西こじょう会が発足して19年の後に立ちあげて現在に至っています、同好会では当初から専任の講師を迎えず、会員数20名前後で各自が旅行・地域の行事・近辺の風景等を撮影した写真を毎月の例会日に持ち寄り会員同士で選評し、年数回開催される作品展に全員が出展、毎年開催される西区民美術展に出展し市長賞、区長賞、ノリタケ賞等を受賞しております、又西区役所山田支所の1階ロビーには西区内で撮影した風物等の作品を会員が順番に展示発表しております。

他に撮影協力として西こじょう会内で活動する同好会の行事、西区役所社会福祉協議会の諸行事があります。一時期他区鯨城会と合同の撮影会を開催しその地域ならではの風物を写真に収め交流を深めていましたが現在は中断していますのでこれを復活し、他の多くの鯨城会と交流を深めれば鯨城会全体の発展に繋がると思います。

当同好会を長く継続して行くためには、新しい息吹きの注入が必要です。

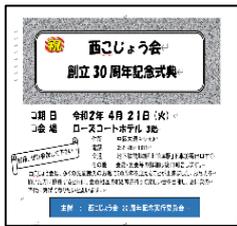
多くの皆様が西こじょう会に入会し、当会に加入される事を念願しております。

# 30周年実行委員会の歩み

## 西こじょう会・30周年によせて

総務委員長(副会長) 30期 小出 晴子 (平田)

会員の皆様には今日に至るまで色々支えて頂きました事を、心より感謝いたしております。役員になり、数年の私ですが、30周年を迎える年に、関わらせていただいたこと、嬉しく思います。さて、令和元年4月30日に、30周年準備委員会が発足しました。翌月5月31日には、準備委員会から実行委員会と変え、式典・懇親会・記念誌・記念品と係を4つに分け動き出しました。夏には、本筋が決まり、皆が一緒に楽しんでもらえるには、どうしたら良いのか、係りごとに動き始めました。



10年に一度の事なので、盛大に開催したいのは、やまやまですが、会員数も減り、限りがあり、苦心しておりました。鯨城会という縁にふれ、末永く西こじょう会が続いていくには、伝統を継承しながらも、時代の変化に対応し、後へと手渡し受け繋がられていかななくてはなりません。

皆様には、西こじょう会の存続と向上に宜しくご支援・ご協力を頂きますようお願い致します。

## 会員より一言

### □心を豊かにしてくれた学園

8期 舟橋 徳次郎 (山田東3)

栄生で生まれ生活が貧しく独学で東海中学へ。奨学金を頂き愛知教育大学を首席で卒業しました。

その後近郊の小・中学へ転勤し桶狭間小学校校長を最後に定年退職、栄生の自宅に戻ったが狭いので、清里町に新築の市営分譲住宅に抽選で当たり、鯨城学園に入学し約30年この地でお世話になりました。

学園では陶芸科で泥を捏ねて沢山の友達に恵まれ楽しんでいました。同級生の殆どは黄泉の旅に逝ったようです。西こじょう会の作品展では人形や動物、写真を出展しては自己満足していました。処が独居となり、時々救急車のお世話になり皆様に心配をお掛けしてはいけないと、妹に高齢者住宅の入居を勧められ、昨秋春日井市の施設に転居しました。

西こじょう会の皆様長い事お世話になりありがとうございます。

私もこちらで難聴ですが希望と展望を持って日々暮らして居ます。ご安心ください。

鯨城学園で学び、旅行や食事会、ボランティア等々私共人生を豊かにしてくれた良き学び舎でした。

学園や福祉協に感謝しています。

(令和元年11月春日井市へ転居)



(姉:93歳 妹:80)  
第15回作品展 出展作品

※舟橋さんは8期の先輩でした。88歳ですが脳梗塞を患い回復しましたが、難聴で体力も弱まり、再三入退院を繰り返し精神力で健康を維持し、足取りもゆっくり歩いていました。

難聴で握力も弱く私が話を聞きながら代筆しました。

ご了承ください。(談・宮脇代筆)

## □無題

14期 井戸田 寿賀恵 (平田)



西こじょう会ありがとうございます。毎年恒例の「西こじょう会だより」を楽しみにしております。

西こじょう会に入り旅行に研修に食事会にと参加して、沢山の楽しい思い出をありがとうございました。

最近年齢と共に参加することも少なくなってきましたが、毎年開催の作品展には気の向くままに「書いた絵や写経」に参加して楽しませて頂いています。

14期のお友達もだんだんと少なくなりました、30周年を迎え私もいつまで続くかわかりませんが続けて行きたいと思っています、今後共よろしく願いいたします。

## □無題

16期 加藤 丈志 (平田)

鯉城学園を卒業して早17年が経過し、御年80歳の傘寿を迎えました。

それでもなお老体にムチ打ち、西こじょうの仲間の皆さんに助けられながら、写真同好会やグラウンドゴルフ同好会に籍を置き、何とか頑張っています。

恒例の熱田神宮から伊勢神宮への約115kmを、3泊4日かけて一人でテクテク歩きの初詣は、来年で丁度10回目の節目を迎えます。これまで想定外に達者で長生きできていることに感謝し、お礼参りかたが最後の歩き初詣とする覚悟です。(2019.11.10)



## □無題

17期 柴田 茂一 (名塚5)



西こじょう会誕生30年おめでとう、代々の幹事さんの努力で今日を迎えられ、感謝の念で一杯です。こじょう会誌は、会員に心身共に元気を発信してきた功績があります。

私自身も相当の高齢に達しましたが、現在もクラブに所属し活動しながら、人生を楽しんでいます。

名古屋は健康寿命が日本で一・二位の水準とのことです。こじょう会のような生きがい活動が健康保持に大きく貢献していると思います。

健康寿命を延ばす秘訣は、教育ではなく「今日行く」、教養ではなく「今日用」つまり今日行く所と、今日の用事をつくる。無理せず常に動くことを心掛けましょう。

## □思い出のバス旅行

18期 長谷川 光男（天神山2）

西こじょう会に入会以来、色々とバス旅行に参加した。今思い出として印象に残っている旅行をベスト5として取り上げてみた。

- ① 乗鞍スカイラインと山野草花園（20.6.19）  
— 雪壁の中を走る車窓からの眺めは絶景、頂上畳平では真冬並みの寒さ
- ② 宇治平等院・桃山御陵・伏見稻荷（21.7.16）  
— 明治天皇・皇后が眠られる御陵、味わったことのない厳かな雰囲気
- ③ 巖立峡・飛騨古川（17.9.30）  
— 瀧見遊歩道の散策、古川の白壁土蔵と鯉の泳ぐ瀬戸川付近の風景
- ④ 湖東三山（26.11.28）  
— 晩秋の近江路の名刹三山と永源寺、全ての寺院で紅葉の真っ盛り
- ⑤ 京都「紅葉と味覚」（23.11.28）  
— 真如堂、嵯峨野の宝篋院の紅葉を満悦、復路京都市内では大渋滞

全てのコースとも行事委員の骨折りがあってのこと、感謝している。

（写真：左より ①～⑤）



## □入会してからの11年間

22期 浅野 喜雄（天神山2）

創立30周年記念おめでとうございます。

20周年記念は、入会1年経過の時であった。あれから丸11年の年月が流れた。

入会后数年の間は、色々とバス旅行に参加し、大いに楽しませていただいた。

特に印象が深いのは、京都市内の各寺院の紅葉と体力的には大変であったが湖東三山への紅葉狩りである、いまでも脳裏に焼き付いている。



また、犬山・木曾川の昼鵜飼は、鵜匠と鵜の動きがはっきりと分かり、幻想的な夜の鵜飼とは一味違う雰囲気を味わうことが出来た。

現在は、西雀友会とカラオケに参加させていただいている。クラス会やクラブOB会が卒業後10年以上も経つとあまり元気がなく、もっぱら西こじょう会の2つの同好会が楽しみである。



これも皆、色々世話をさせていただいている世話人のおかげと思い、感謝している現在である。

## □西こじょう会 30 周年について

22 期 渡邊 富子（菊井 1）



西こじょう会創立 30 周年おめでとうございます。  
一口に 30 周年と云いますが継続するには並大抵ではないと思います。歴代の会長さん・役員さん初め、会員の協力なしでは成し遂げることが出来ません。  
感謝、感謝です、これからも益々の発展をお祈りいたします。

## □三十周年記念、おめでとうございます。

22 期 浅野 八重子（山田 3）

私は、鯉城学園に二十二期生として学科（地域）に入学。また、クラブ（パソコン）に入部して二年間、様々な知識や、人生経験の豊富なクラスメイトと共に充実した学園生活を送りました。



卒業後は、西こじょう会に入会。役員さんのお陰で、趣味、旅行、作品展、見学会やボランティアの活動を通して、仲間たちと一緒に楽しんでいます。中でも一番嬉しかった事は、長野県の温泉へ家族旅行に行った際に撮影した写真を、西こじょう会だよりの表紙に掲載して頂いた事です。

今では、写真同好会の皆さんと西区内で撮影した写真を小田井支所で展示させて頂くのも、楽しみの一つです。

このような形で地域との接点が多かった事も、鯉城学園に入学した事でなし得た賜物です。

引き続き地域の皆さんと新たな交流を設ける場として、西こじょう会が末永く続きますよう祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

## □あれから 60 年

23 期 山崎 啓二（山田 1）



現役時代はサラリーマン、住まいは同じ西区でも山田学区の隣の庄内学区に住んでいました。

現在住んでいる西区八筋町とは庄内川を挟んで北と南です。幹線道路も以前庄内橋から北は砂利道で、交通機関も一部では馬車も往き来している西春日井郡山田村でした。

あれから 60 年、教育・医療・スーパーと色々な機関が充実してきており、大抵のことは遠くまで行かなくても間に合う環境に

なっています。

交通機関も地下鉄に名鉄と、近くに駅がありとても便利になりました。

八十路に入ってしばらくたちますが、これから何年この地域にお世話になるか判りませんが、可能な限りこの街に愛着を感じ楽しく、元気で過ごしてゆきたいと思っています。

八十路越え余生楽しく元気良く  
長生きを共に願いし二人連れ



現在習っている川柳です。

## □赤い柄の丸ペン

25期 伊藤 光宏 (菊井 2)

私の机の引き出しの中にそれはあります。

机と言っても上はパソコンやミニコンポ、それにガラクタが山のように、まるで作業台と言った方が近いかもしれません。その机も代が3回ほど変わりましたが、その丸ペン（ラジオペンチを細くした様なもので、私にとって電気工作には無くてはならないものです）は我家へ来てからもう50年近く、机の一番上の中央の引き出しの特等席に鎮座して工作の出番を待っています。それは丸ペンと言うより万能工具として酷使されてきました。

—以下は赤い柄の丸ペンの独り言—

『私の赤い柄の絶縁プラスチックは線を「しごく」のに使われ、一部分はこすれて下の錆びた鉄が剥き出しになっています。また細かい部品を掴むため先はヤスリで削られ、身の細る思いです。先の裏のギザギザもヤスリで平らにされてしまいました。

そしてある時などはプラスチックの小さな穴に刃先を差し込んでグルグル回され、まるでリーマーのような使い方をされ、噛み合わせにガタも来ています。

あろうことか、アルミ板の穴あけにも使われました。

このように満身創痍の私ですが、残り少ない余命をご主人と一緒に工作できるよう、引き出しの中で待機しています』



## □私のインド旅行

25期 千田 銈三 (名塚 1)



私にとり、初めてのインド旅行でありランナー友達より呼びかけられた時、すぐ飛びつきました。

人一倍旅好きの私は世界の旅の中でも、インドは残り少ない未踏破の地で、釈迦の生誕地であるので悔いの残らないためにもと即決でした。

80歳を過ぎ急に仏教に興味を覚え、たいした知識もないのに、八事興正寺での法話の会に参加の最近の日々です。

デリー近郊の釈迦の説法をしたと伝えられる菩提樹の近くにも行き、釈迦や弟子たちの墳丘のある公園にも思い出を残してきました。

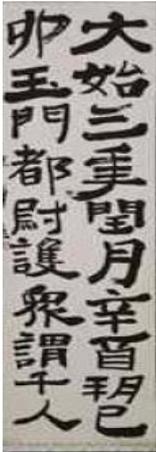
高齢ゆえに健脚の皆さんについていけるか心配でしたが、何とか最後まで旅を満喫でき同行のランナーの皆さんに感謝です。

インドで教鞭をとっておられる元気なランナー友達のまり子にもお会いでき、楽しい楽しい旅でした。飛行機の10時間はちょっと疲れしました。

2020年1月29日

## □西こじょう創立 30 周年おめでとうございます。

26 期 伊藤 みち子 (山田東 1)



第 15 回  
作品展 出展作品

私は 20 期から抽選にもれ続けやっと 26 期の健康学科に入校、替え歌でクラスを盛り上げ、クラブは歴史愛好で清盛の史跡を訪ねたり、楽しい学園生活でした。

引き続き西こじょう会に入会して作品展・地域の清掃・グラウンドゴルフ・旅行等々楽しい思い出や、友達に恵まれて感謝です。

今はフラダンス・グラウンドゴルフ・歌など健康の有難さを第一と考え百歳を目標に、楽しく頑張っています。

## □無題

28 期 桑山 常夫 (山田東 1)

高年大学に入り学園生活を 2 年間、卒業と共に西こじょう会に入り、はや 5 年が過ぎようとしています、ボランティア活動やカラオケ同好会など楽しく過ごしてきました。

これからも西こじょう会の活動に協力をしていきたいです。



## □山本良比呂 (第 2 の山下清と呼ばれた男)

29 期 野々山 克彦(菊井1)

緻密な風景を描いて「虹の絵師」「第 2 の山下清」と言われる山本良比呂の企画展を過日、碧南高浜市やきものの里「かわら美術館」で鑑賞してきました。

聴覚・言語・知的障害がありながら、広い画面から細かい線まで、点描による緻密な描字による色鮮やかな画風が特徴です。

1948 年名古屋生まれで、1961 年～1964 年まで市立菊井中学校特殊学級に在籍しています。身近な所で生活していたことがわかり、親近感を一層深める事が出来ました。

作品には、名古屋城や中部地方の風景例えば白川郷・又ヨーロッパ旅行で行ったスペイン、マドリードの寺院など多数あります。

再度鑑賞する機会があれば、必ず見に行きます。



# 交友会より一言

## 菊井学区

会員数：20



今の時期にしては暖かいと思われる1日、令和2年1月18日（土）菊井学区の校友会を名駅「馬喰一代」で黒岩相談役、細川会長、森副会長を迎え総勢10名の食事会でした。

年寄りもお肉が必要と昨年、好評でした同じメニューをコンロで肉、魚、野菜を焼きながらの楽しい一時で会話が弾み、会長から鯉城学園、西こじょう会の現状の説明が有り、ここ数年会員数が減少気味ですが、今年は西こじょう会30周年があるので出席依頼あり、次回の参加を願い散会しました。

記 倉田 好江

### 【会員より一言】



## 菊井1ブロック

- 20周年の冊子を作るのに、携わり懐かしく益々のご活躍、祈っています。…横江久代
- 鯉城学園 わたしの宝物。…・櫻井鑛治
- 今後、ますますのご発展を期待しています。…・高木圭子
- 「西こじょう会だより」毎回楽しく読ませていただいています！…・鈴木愛子
- 40周年が祝えるように健康寿命を高めます。…・野々山克彦
- 西こじょう会、このような集まりが長く活動されることを願います。…・林登紀男
- これを節目にさらに長く続くようお互いに頑張りましょう。…・松野正実
- 30周年用と8期の舟橋様より寄付を頂き、先輩方の西こじょう会への思いと歴史の重さをひしひしと感じました。…・倉田好江

投稿なし：神野・中野



四家道



園頓寺



円頓寺商店街

## 菊井 2 ブロック

- 人生 100 年時代を迎え、健康に気おつけ元気に頑張りましょう。……・別府輝年
  - 西こじょう会創立 30 周年を祝して乾杯！会の益々の発展を祈念します。……・黒岩利次
  - 30 周年素晴らしい事、役員さん有難う！……・森田知子
  - この会があって、生きがいを見いだせたのに、感謝、感謝！……・」 斉藤克代
  - 西こじょう会、頑張って 40 周年目指せ！……・森山幸治
  - 30 周年の歴史を重く受け止め、40 周年に向けて頑張りましょう。……・河口憲司
- 投稿なし：鈴木・斎藤・田口



ノリタケの森



ノリタケ  
ミュージアム



名古屋  
ルーセントタワー

## 健康寿命を延ばすには！

### 【健康寿命とは！】

元気に自立して過ごせる期間のことを「健康寿命」といいます



ロコモ対策に

毎日の習慣を!



### 7つのロコチェック & ロコトレ

#### 7つのロコチェック

思い当たることはありますか？  
まずはチェックしてみましょう！

click!

片脚立ちで靴下をはけない

家の中でつまずいたり滑ったりする

階段を上るのに手すりが必要である

家のやや重い仕事が困難である  
(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)

2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である  
(1Lの牛乳パック2個程度)

15分くらい続けて歩けない

横断歩道を青信号で渡りきれない

### 柔軟性を高める体操

#### 「開眼片脚立ち」

バランス能力を鍛えるロコトレ 左右各1分間を1日3セット

転倒しないように、必ずつかまる物がある場所で行う。



自信のない人は!



机に片手または両手をついて行いましょう。片手をつかなくても行える場合は、指先をつけて行います。

### 痛みをとる体操

#### 「スクワット」

下肢筋力を鍛えるロコトレ 5〜6回を1日3セット



つま先は30°外に開く

脚を肩幅に開き、つま先を30°くらいに開く。



息を吐く

膝がつま先より前に出ないように

いすに腰かけるように、息を吐きながらゆっくり腰を下ろす。この時、膝はつま先と同じ方向に曲げる。深呼吸するペースで、ゆっくり行う。

自信のない人は!



机に手をついていすに腰かけた状態から、ゆっくりと立ち座りを繰り返します。机に手をつかずにできる場合は、手を机にかざして行います。

1つでも当てはまると、  
ロコモの心配があります。  
今日からロコモ対策を始めましょう!

# 浄心交友会

会員数：25名



西こじょう代表、相談役以下男性8人女性5人の出席で志の島本店で12月10日実施しました。

相談役一江様15期卒業こじょう会レジェントです。西こじょう会代表は現在寂しくなっていく会を憂いながらも、今後の発展につくしたいと厚く語られました。

レクレーションでは「皆さん万歳をしてください」安倍総理の万歳は手が内を向いていますね、意識せず手を前にした私はノーでそれは前のめりになるからだそうです。

皆さんご存じでしたか？

そのあと、昔の紅白クイズで盛り上がり終了しました。

記 竹島 豊子

## 【会員より一言】



令和元年「浄心学区交友会」於 志の島本店 R 01.12.10

## 浄心1ブロック

- 平素壮年をしのご皆様の活躍大慶に存じます。……伊藤勇
- 一度の人生前向きに、楽しく100才万歳！……祖父江正子
- これからも永く続きます様お祈りしています。……近藤昌子
- 学校卒業後、一度も行事に参加されない方が多いので皆して誘いましょう。  
……板津敏也
- 毎日楽しく明るく日々の生活を過ごして生きたいと思っています。……加藤文江
- これからの人生で一番若い、今日と言う日を仲間との「輪」「和」「話」で楽しみたい  
ものです。……牛島康晴
- 剣客商売の秋山小兵衛のように、60才からの人生を生き生きと暮らして生きたいと願っ  
ています。9年目となる西区民の生活をゆっくりと楽しんでいます。……桃井俊明
- ますますの発展を心よりお祈り致します。……小川喜久子



浄心交差点



弁天通り

投稿なし：狩野・水野

## 浄心2ブロック

- 私の人生で、「今が一番若い」を年頭において、健康で充実した人生を送る為、西こじょう会での絆も大切にしたい。……一江義光
- 「さぁ～行くぞ」愛犬に誘われ！毎日散歩。……前田伸哉
- 無理せず今朝の体調に合わせて、元気を出してさあ動こう。……前田サカエ
- 交友会開始の1年前に城西学区会を開催した事を思い出しました。……小川正
- これからの人生、健康に気を付け楽しく過ごせたらと思います。……久保田美智子
- 75歳 毎日楽しく元気を続ける。……寺澤章好
- オメデトウ！30年間の諸先輩方に感謝申し上げ、今後の発展も祈る。……加藤武
- 人生正に百年時代、趣味に娯楽にそして健康に大いに努めましょう。……浅野ツヤ子
- “余生なほ瑞々しかれ年新た”。高校恩師の句です、鯉城で得たものを糧に生きてゆきたい。……竹島豊子
- 年賀状、そろそろ年賀状も上手に感謝をこめて「断捨離」しませんか。……武藤憲
- 豊かな心で100周年に向かってガンバロー！……福田昌彦
- 明るく楽しく！で行事に参加させていただきます。……早川明良

## 浄心3ブロック

- 写真同好会、初め他の同好会でふれ合いの場が出来て感謝です。……安藤弘子
  - 役員各位様の奮闘ぶりに頭が下がります、麻雀同好会楽しいです。……酒井紀子
- 投稿なし：渡邊



①宗像神社



②蜂谷宗意宅跡



③浄心寺



⑤上宿山神社



④興西寺



⑥武島神社

## 名塚学区

会員数：38名



令和元年11月20日16回フェスティバル・11月22日日帰りバス旅行と大きな行事が終わってすぐの11月30日(土)「浄心志の島」にて、名塚交友会を開催しました。

細川会長初め総勢23名の出席で、自己紹介のあと会員減少に伴う幹事のあり方などについて活発な意見が交わされました。また、30周年記念の話もあり、是非都合をつけ出席して頂くよう連絡がありました。

最後に皆さんのご多幸とご健勝をお祈りしてお開きになりました。

記 中村 幸子



### 【会員より一言】



### 名塚1ブロック

- 西こじょう会30周年、長い年月支えて下さった会員の皆様ご苦勞様です、これからも益々楽しい会が続きますように！……・大海之子
- 16区フェスティバルでは、パン食い競争・クイズ「チョコちゃんに叱られる」など楽しかったですね、皆で楽しい行事に参加しましょう。……・中村幸子

投稿なし：青木・大野・田口

### 名塚2ブロック

- 脳梗塞を患い療養中ですが、心は元気です。皆様よろしくお願ひします。……・大口廣司
- 役員さん達が今まで一生懸命努力して支えて下さったお陰で、このうれしい日を迎えられる感謝です。……・松田久恵
- 西雀友会のマージャンを楽しくさせて頂いています。……・永田スミ子
- 鯉城を卒業してはや6年、この学園に入学した事により多くの新しい仲間との繋がりができ、私の人生に大きな喜びと楽しみが増えた事に感謝しています。……・山寄里美

□西こじょう会を30年間育て続けて下さった諸先輩方有難うございました。

……・村手重子

□私の身近な友は、庄内緑地公園です。いつも快く迎えてくれます、園内に入ると「やる気」の掛け声が聞こえるような気持ちを持たせます、ついつい体を動かしてしまう私には良い友です。いつまでもそばにいてほしい……。……・森孝義

投稿なし：谷川

### 名塚3ブロック

□見栄も打算もなく心から打ち解けて話の出来る鯨城会の友は私の生涯の宝です。

……・中島昭親

□人と人との繋がりを大切に、30年、そうした運営に感謝。……・田坂和子

□鯨城学園に感謝、大勢の学生の中色々な職種の方と触れ合い、世流の親睦・世間の勉強・旅行・見学と見聞が広がり娘も私を見て年齢に達したら入学したいと言いました。

……・坂井幹子

投稿なし：福田・久保・原田

### 名塚4ブロック

□令和の年を楽しく、いい年にしたいですね、皆で仲良くいたしましょう。……・小出賢

□何事にも、感動する、感謝する、関心を持つ、三かみを常に心がける。……・木全二美代

□一カ月に4回のパソコン研修会に参加させて戴いており、鯨城学園から続けて習練しています、これも諸先輩方のおかげです。……・高場知弘

□今、毎日行く所があり、用事があるのは、鯨城学園のお陰です。(きょういくときょうよ) ……・岸みどり

□100年時代に向けて、さらに30年ガンバリましょう！！……・森富貴子

□家に引きこもらず、先ずは外に出て何かの活動を！！……・角田正人

□80・90、いくつになっても好奇心を持ち新しい事に挑戦する心を忘れずに！！

……・綱島千恵子

投稿なし： 鵜飼・伊藤

### 名塚5ブロック

□家族の絆と西こじょう会の絆で皆で楽しい余生を送ろう。……・森清光

□〈自戒を込めて〉誇大な情報に惑わされず、自分の体からの声を信じて、少しでも痛みや不快感が和らぐようにしていきたい。……・柴田勝治

□これからも地域になくってはならない存在として、活動を続けてください。未来にむかって益々のご発展をお祈り申し上げます。……・平澤文夫

□「人生今日が一番若い」やりたいこと、やれることは、今やろう！自分の為に、皆んなの為に。先の読めない高齢者だから。……・畠中忠次

□卒業後、早くも2年近く経ちました。早いものですね、だんだんと歳をとり、体も無理がきかなくなりますが、それでも自分の興味のあることにはチャレンジをして、人生楽しく元気に過ごそうと思っております……・西垣悦子

投稿なし：近藤



## 天神山学区

会員数：13名

令和元年11月30日（土）“和食さと”上更店にて、細川会長多忙のため小出副会長、長谷川学区相談役にご出席頂き総勢8名が、和気あいあい語り合いました。

小出副会長より、西こじょう会の現状、30周年記念を迎えるについてのお話がありました。

皆さんの健康と活躍をお祈りし、お開きとなりました。

記 藤原宏子



天神山学区は天神山1学区（榎と南押切）と天神山2学区（枇杷島と栄生）より成り立っている。

平成24年の交友会発足当時は1学区が会員13名、2学区が会員12名の計25名在籍していたが、現在は1学区が全員退会してゼロ、2学区が会員13名となっている。

しかし、第1回が参加者8名、昨年の第8回が7名と殆んど変動がない。目的の一つである「西こじょう会発展のためには地元の親密なコミュニケーションが必要である。」が達成されているか疑問である。



（昨年の交友会）



祝！  
30周年

### 【 会員よりの一言 】

- 運動不足解消のためグラウンドゴルフに励んでいます。………… 戸田まき子
- カラオケでは長いことお世話になりました、西こじょう会に感謝。………… 諏訪政一
- たくさんの思い出をありがとうございました。………… 山田幸子
- 末永く発展することを祈ります、40周年を期待。………… 犬飼倭子
- 社会への還元としてボランティアに精を出しています。………… 仲島勝敏
- 余り行事に参加しませんが、「西こじょう会だより」は楽しみです。………… 徳永清子
- 30周年とは大変なこと、西雀友会も続けたいものです。………… 塚田加代子
- 高齢者の皆さん、西こじょう会と共に末永くお元気で。………… 堀沙枝子
- 30周年なんて凄いこと、歴代役員の方々ご苦労様でした。………… 水野久美子
- 地元の結び付きが深くなるので、永く続くことを祈ります。………… 河村康子
- 貴重な新たな体験をさせて頂き、ありがとうございました。………… 藤原宏子

（一言は卒業年度順）



美濃路シンボルマーク



枇杷島スポーツセンター



日本百名橋 枇杷島橋



# 山田学区

会員数：22名



令和元年12月13日(金) 山田学区交友会を「味彩」にて行いました。

総務から大海さんにも出席して頂き総勢9名が、集まり和気あいあいと語りあいました。

入会者が少なくなり、役員を選出もだんだん難しくなってきました。

入会者が少なくなり、役員を選出もだんだん難しくなっていますが、出来る人が協力しあって西こじょう会を盛りあげましょうと話合いました。

30周年に向け、皆さんの健康と活躍をお祈りしてお開きになりました。

記 小森 美登里



## 【会員より一言】



**寿**  
**創立30周年おめでとう**  
**ございます！**

## 山田1ブロック

- 鯉城卒業後は楽しい毎日です。……田中君代
- 卒業してから趣味と友人ができて楽しい日々を過ごしています。……伊吹雅子
- 鯉城学園で学ぶクラブ活動共に過した仲間と語り合い絆を深めている。……市岡幸隆
- 終活宣言！昨年迄は自分の思いで生きた。今年は共に楽しもう……岩田幸造
- これからの人生 前向きに明るく楽しい日々を暮らしたい。……小森美登里

投稿なし：小谷・吉永・松原

## 山田2ブロック

- 西こじょうに入会して、初めて編集に携わり、「涙あり、苦しみもあり」でも終われば出来具合が良くても悪くても、喜びに変わりました。……勝ズ子

投稿なし：船橋・山羽・伊藤

## 山田3ブロック

- 長きにわたり役員を初め関係各位のご尽力で継続され感謝しています。……加藤鈿
- 私は健康年齢を維持するために、散歩をしています。……日下隆
- 健康第一に考え、地域のボランティアと学園の行事に参加したいと思っています。……吉田匡伸

投稿なし：早稲田・山田・片平・中村



## 平田学区



との声が出ました。

会員数:12名

令和元年11月12日(火)中華料理「サラエ亭」でおこないました。

参加者7名と細川会長も出席いただきました。

会長より年を取ってからの友情は、大切にそのために健康クラブでウォーキング計画、ゴルフクラブ計画、同好会入会要請 etc 会員からは、現在自治会、農協等も色々なクラブに、力を入れているので余計西こじょう会に目を向けることができないのでは？

記 藤原 弘子

### 【会員より一言】



- 健康第一に、鯉城の仲間の人達との出会いを何時迄も大切にしたい。……井上信也
- 「我逢人」これからも出会いを大切に、日々をすごす。……水井修
- 西こじょう会を楽しみましょう。……不破隆
- こらからも元気に生活し、参加したい……井上和夫
- 鯉城学園卒業してからも、沢山の出逢いがあり、誰でも友達になれ食事・旅行・見学など毎日多忙で、人生今が一番自由で充実しています、これからも健康に気を付けて出逢いを楽しみたいです。又、先日は「16回フェスティバル」それなりに楽しかったですね、有難う！一言書きましたが頭を使いまして、苦手です……石田千恵子。
- 長い様で早い30年の歩み、先輩達の足跡をこれからもずーと続く事を願っております。……小出晴子
- 健康でボランティアが出来る喜び、いつまでも……藤原弘子
- これからも地域コミュニティとしての活動が益々発展されます様応援します。……織田玲子

投稿なし：池田・脇田



# お知らせ

## 【訃報】



高年大学鯉城学園鯉城会会長の飯田泰久様  
令和2年2月5日、72歳にて永眠されました。  
※30周年記念号の「お祝い」のご寄稿を頂いた後の訃報  
感慨無量です。  
謹んでお悔やみ申し上げます。

## □舟橋氏より



冬	秋	夏	春
責己如冬 嚴心	思物如秋 澄心	為事如夏 燃心	接人如春 温心

この原稿は令和元年10月20日に書かれたもので「30周年記念」に役立たせてくださいの言葉に添え、多大な寄付金と共に寄せられたものです。

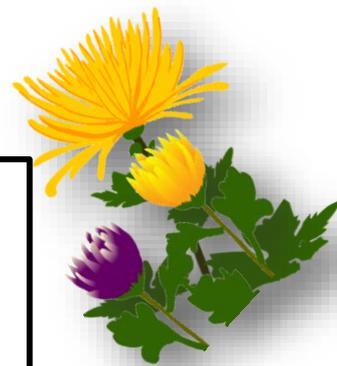
### 西こじょう会全会員より厚く御礼申し上げます。

役員一同舟橋さんの意をくみ「30周年記念」のため全会員に還元できる様考慮しました。

例「皆さんに配る記念品が豪華」「記念号がモノクロ印刷からカラー印刷」他

## 【訃報】

8期 舟橋 徳次郎様（山田東3）  
令和2年1月7日、89歳にて永眠されました。  
謹んでお悔やみ申し上げます。  
妹さんより、電話あり。



# 編集後記



雑誌編集に携わったことのない私が広報を仰せつかり、先輩のご指針・ご助言を受けながら、失敗だらけの2年間、最後にまた失敗、それは114号において「作品展」の写真（俳句の、中島昭親様と宮脇行正様の表示が入れ替わり）、また（絵手紙の浅野八重子様作品が他の方と繋がり）等々ご本人様にはご不快をお掛けし申し訳ありません

でした。また、会員の皆様には見苦しいところお許しください。

その上、中国から我国・世界中と新型コロナウイルスの蔓延している最中、今回30周年記念号の編集にあたり、「30年の歴史ある」会のため、身に引き締まる思いと資料集めには苦勞すると覚悟していましたが、様々な方々から御助成とご協力をいただきました、厚く御礼申し上げます。

とくに、舟橋徳次郎様（山田東3）の寄付金にて、画面のカラー化が美しく出来有難うございました。又、相談役の長谷川光男様（天神山2）には編集の土台となる画面の制作をして頂き、30年間の歴代会長・行事の資料他ご教示頂き、スムーズに編集でき感謝、感謝です。

また、小岩孝志様には快く、表紙の絵をかいて頂き有難うございました。その上、会員の皆様には「一言」の言葉・交友会・同好会・各委員会には「この30年間の歩み」を振り返っての原稿協力有難うございました。

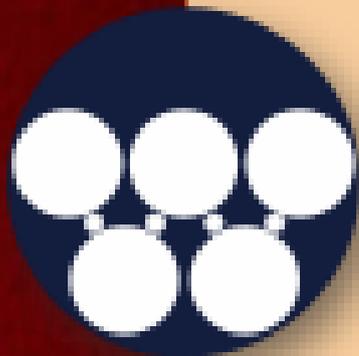
最後に、お祝いの言葉を賜った各方面の方々、及び原稿をお寄せ下さった会員各位に深く感謝いたします。

## ❁ 「同好会」と「交友会」の紙面順不同



交友会の言葉の中に「30周年記念」のお祝の一言が殆どの方に入っており、重複のため、各「学区」ごとに一つにまとめさせていただきました。

発行日	2020年（令和2年）4月8日
発行	30周年記念実行委員会
責任者	細川 芳則 （30期 地域A 名塚2）
編集	勝 シズ子 （30期 地域A 山田2） 小森美登里 （30期 健康B 山田1） 森 富貴子 （29期 文化A 名塚4） 倉田 好江 （30期 地域A 菊井1）
相談役	長谷川光男 （18期 生活B 天神山2）



シンボルマーク



西区の木 ヤナギ



西区の花 桜草

